

# センターでの 3年間を振り返る



愛媛県農林水産部管理局  
農政課企画係  
係長 須山 広周

## センターへ異動



今から3年半ほど前の3月、私の下に  
ある一本の電話がかかってきました。  
須山君、「財団法人えひめ地域政策研究セ  
ンター」というところへ派遣になるんだけ  
ど…

当時、私は県の東京事務所勤務して3  
年を経過し、愛媛に戻る予定でしたが、予  
想外の電話にちょっと戸惑ったことを覚え  
ています。

最初の3か月は、今まで一緒に仕事をす  
ることのなかった民間の方とのお話とし  
た感覚の違いや今まで携わったことのない  
決算業務に追われ、若干戸惑いもありまし  
たが、慣れてくるとだんだんとずうずうし  
くなるもの。

それからは、いろいろな「現場」に行かせ  
ていただき、いろいろな人と出会いお話を  
聞くことができました。

## 現場の大切さ



現場に向くこと…それはとても大事な  
ことなんだということは、ずーっと前から

いろいろな諸先輩方に言われていたこと  
でした。

そして、異動でいろいろな現場に行くた  
びに可能な限り実践してきたつもりでし  
たが、センターに来てからの「現場」は、今  
までのものとは少し違っていたような気が  
します。

今までは、そこに行くことに意義を感じ  
ていて、行ったことによる満足感が大き  
かったのですが、この3年間の現場では、  
そこにプラスαのものがあつたように思  
います。

それは、現場の人と実際に向き合っ  
て話すとということでした。

皆さんから見れば、「な〜んだそんなこと  
か」と思うような初歩的なことだと思いま  
すが、今までの私には、その部分が少し欠  
落していたような気がします。

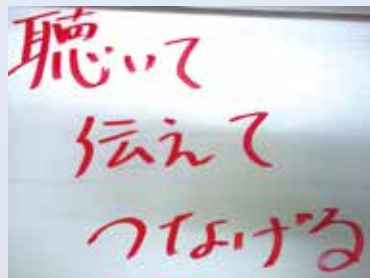
人と会って話を聞くことで、自分の目  
で見ること以上のものを手に入れることが  
できるようになったと思っています。

私は、現場の大切さを感じつつ、ある悩  
みの抱えていました。それは、このセンタ  
ーの主任研究員として自分のできることは  
何か？ということでした。

私はどちらかというとあまり積極的な  
タイプではないし、優柔不断で、人を引く  
ほどの力もない方だと思っています。

そのような私が、何を持って地域づく  
りに貢献できるのかをずーっと考えていま  
したが、ある研修  
に参加させて  
いただき、考え  
を整理していく  
中で「これかな？」  
と思うものが  
見つけられました。

自分のできる  
こと…それは  
「聴いて、伝え  
て、つなげる」  
でした。



何かをやり  
たいと思ったとき、仮に自分ができなく  
ても、誰かにつなげることによって、また、誰  
かと増えるのではありませんかと、そう思  
うようになりました。  
その気持ちは、センターを離れた今も持  
ち続けています。

## 出会いの大切さ



それにしても、センター在任中は、いろいろな人に出会わせてもらいました。

1年目は、コミュニティ・レストランという取組（舞たうん106号をご覧ください）に携わることで、いろいろな人に出会うことができました。

2年目は、過疎・離島地域の結婚支援について研究することとなり、県外各地に出向くことでいろいろな人に出会うことができました。

3年目は、少しですが講演やコーディネートネーターのお仕事もいただくようになり、そこでいろいろな人に出会うことができました。

これは、「えひめ地域政策研究センターに來たからこそ」だと思います。

## センターを離れて



4月からは、県庁の農政課に異動になり、センターを離れてから約半年が過ぎました。

それまでの3年間と全く違った時間の流れの中で戸惑うことも多くありますが、センター時代に、第一次産業と地域の活性化とのつながりを考えていたこともあり、今の職場でも、センター時代にお会いした方々と一緒にする機会もあります。そういった意味では、このタイミミングで農政課に來たのも何かの縁かなと感じています。

最後になりますが、自分を育ててくれたセンターへの感謝の気持ちを込めて、また、

自分への叱咤激励も含めて、この言葉を書いておきます。  
「二歩踏み出す勇氣を持ち、いろいろな方と出会いましょう！」

このセンターでは、本当に自分のやりたことができる素晴らしい環境にあると思います。

できるだけ自分の殻を作ることなく、前向きな姿勢で調査研究に取り組んでいただければ、本当に実のある時間を過ごすことができるのではないのでしょうか。

そして、先輩方が築き上げてきたものをつなぎながら、より皆さんに頼りにされるECPRになっていくことを望みます。

本当に楽しい3年間でした。良き上司、同僚に恵まれたことも大きかったですし、



皆さん ありがとうございます

官民の違った感覚の融合で、いいものが出來上がっていったのではないかと思っています。

みなさんありがとうございます。出会いに感謝☆



## 【追記】

今年2月に長野県飯田市で行われた「未來の自治と協働のまちづくりを目指す飯田研究集会」に参加しましたが、飯田市の公民館活動はとても素晴らしいものでした。愛媛の公民館活動も素晴らしいものがありますが、公民館の価値を再確認することはとても大切なことだと思っています。



飯田集会の様子